

## 第1回 JEAS 科学保安講習会 受講者アンケート集計

32名参加者中、現在までに回収を終えた30名中の集計です。

## 1. 本日の「講習会」の感想をお教えてください

- 大変ためになった 30名  
 あまりためにはならなかった 0名  
 その他 0名

## 2. 本日の「講習会」の内容についてお教えてください

- 今まで知らなかったことがたくさんあった 27名  
 ほとんど知っていることだった 2名  
 その他 1名  
 ・現地とシステムを作った流れを学べて良かった。

## 3. 「講習会」の時間について（1つお選びください）

- ちょうど良かった 22名  
 長すぎる 6名  
 短すぎる 0名  
 その他 2名

- ・休憩時間がもう少しあると集中力が続くと思います。顔認証を使った保安業務のあと一度休憩が欲しかった。  
 ・休憩時間を長めに2回入れて、伝えることはきちんと伝えていいと思う。

## 4. 講師の説明について（1つお選びください）

- おおむね解りやすかった 28名  
 説明が解りにくい講師がいた 0名  
 その他 2名

- ・説明は分かりますが、音声聞きにくかったです。私の耳が悪かったかもしれません。  
 ・動画での音声に聞き辛いものがあつた。

## 5. 「テキスト」（PDFデータ）について（1つお選びください）

- おおむねまとまっていた解りやすかった 30名  
 解りにくい部分があつた 0名

<お気づきの点・改善点等があれば以下にご記入ください>

- ・機器トラブルと音声については改善いただきたい。  
 ・機器のトラブルで、一部音声飛んだ。  
 ・文字が小さすぎて読むのに苦労しました。

## 6. 「科学保安講習」の制度や学んだことを今後、社業やご自身の業務でどのように活かしていきたいですか。

- ・保安員だけでは年々万引き犯の捕捉が難しくなっている。人とカメラの連動で少しでも店舗の被害を減らしていきたい。  
 ・私服保安会社の会社であるので、万引き犯の検挙に活用できればと思う。これで保安員全体の平均捕捉率の底上げになればと思う。  
 ・顔認証等のカメラをもっと勉強しようと思った。  
 ・教育指導に反映していきたい。  
 ・ロスを減らせるよう努めたい。  
 ・ちょっとした事で今回の事を思い出していきたい。  
 ・自分のスキルの向上が出来たら。  
 ・今まで店舗から情報を頂いても捕捉につながらないパターンが多かったです。（対象者が来ない。等）少しでも精度の高い情報であれば活用したいです。  
 ・長く仕事をしていくなれば下の人達に伝えていきたい。  
 ・非常に参考になりました。有難うございます。

- ・各防犯カメラメーカーの技術の発展ですばらしいものができていると感じました。最終的に現場で対応する保安員と科学保安として活動できるようにしたい。
- ・市川ビルのロス削減の話がとても興味深く感じました。
- ・今後、更に顔認証システムを有効に活用して、万引き犯確保に努めたと思います。
- ・防犯カメラの販売時に役立つ情報でした。今回学んだことをしっかりと生かしていきたいと思います。
- ・自社製品への顔認証システムの積極的な活用を検討するとともに、防犯目的での範囲を超えないようにデータの取り扱いに注意したいと思います。
- ・従業員・警備員と画像認証の共有により、より安全な店舗更には地域を構築できることを説明していきたい。
- ・今回学んだことをお客様にも知っていただき、店舗に応じた改善策を提供できるよう取り組んでいきたいと思います。
- ・顔認証システムについての知識は多く学んだが、それをどのようにしてお客様に認知してもらうか、どのように売り込むかが課題だと思う。
- ・お客様の対応に活かしていきたいと思う。
- ・社業で活かせる場があればと思う。

<新聞社の方より>

- ・JEASの活動・保安警備記事の作成において、より正確に、深い内容で記事を作っていくたいと思う。

<講師・アドバイザー>

- ・当社はビル会社ゆえに直接保安業務を行っているわけではありませんが、保安業務・施設警備業務の連携を深め、更なる強固な防犯体制を構築していければと思う。
- ・今後の新しいシステムを積極的に調べていきたい。

7. 今後、JEASのテーマとして盛り込んで欲しいことや、ご意見がございましたら下記にご記入ください。

- ・他の防犯機器についても学びたい。防犯ゲートやタグについても。
- ・顔認証業務の実例と個人情報制度の実例。稲本会長に雰囲気を整えていただいたので、テスト中も集中できました。
- ・顔認証カメラを活用し、広域窃盗団等が実際に捕まった事例を紹介できる範囲でお願いしたい。
- ・引き続き、科学保安について
- ・GV-FACEのAPPについて、紙の資料がほしい。
- ・現地・現場に立つ人間の心構えも文章にして良いと思う。今サーモカメラがあるので、それと連携すると正面より顔が取れる気がしました。
- ・それぞれのメーカーと警備会社との必要に応じたマッチングシステムが欲しい。
- ・他の防犯機器（RFIDゲート）について気になりました。
- ・資料で説明する時にポインター等を使っていただくと分かり易いかなと思いました。
- ・①一般の方にも分かり易く、漫画などを作成してほしい。②キャラクターの作成。
- ・顔認証システムの売り込みアプローチを勉強したい。
- ・今後「科学保安」という概念が拡散定着すれば、小売業であれ百貨店であれ、映像管理を主とした指令室とか管制室のような特別室を建築設計段階から盛り込むことが必須になってくるので、その部分では設計士、保安警備会社、防犯設備メーカー、JEASの相互連携が不可欠のような枠組みを今後全国展開できる基本計画を策定しませんか？

<講師・アドバイザー>

- ・社車認証について、もう少し各社の情報を整理できないでしょうか？（車の管理システムと防犯システムの連携について）またスーパーのレジゴーやスキャン&ゴー等の防犯対策について、JEASとして取組んでいただけると心強い。
- ・JEASを通して保安警備会社とシステムメーカーの情報交換の場を増やしていけばと思います。
- ・本日の科学保安講習会、素晴らしかったですね。お世辞抜きですごくと思いました。稲本さんはじめ、みなさんの努力に敬意を表します。